



2027年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2026年8月10日

上場会社名 浅香工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 5962 URL <https://www.asaka-ind.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 岡田 実

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部本部長

(氏名) 田中 隆信

TEL 072-229-5137

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	2,368	3.6	166	52.8	178	47.3	122	45.9
2026年3月期第1四半期	2,285	6.7	108	40.5	121	45.2	83	45.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	127.07	—
2026年3月期第1四半期	87.10	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年3月期第1四半期	7,343	4,658	63.4	4,849.55
2026年3月期	7,011	4,598	65.6	4,787.63

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 4,658百万円 2026年3月期 4,598百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	90.00	90.00
2027年3月期	—				
2027年3月期(予想)		0.00	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2026年3月期期末配当金の内訳 普通配当 50円00銭 特別配当 40円00銭

3. 2027年3月期の業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,400	0.5	220	29.3	250	27.9	170	58.6	176.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2027年3月期1Q	1,037,080 株	2026年3月期	1,037,080 株
期末自己株式数	2027年3月期1Q	76,554 株	2026年3月期	76,494 株
期中平均株式数(四半期累計)	2027年3月期1Q	960,569 株	2026年3月期1Q	960,608 株

添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 P.2「1. 経営成績等の概況(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	7
3. 補足情報	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に、景気は緩やかな回復基調となりました。しかしながら、継続する円安や中東情勢の緊迫化によるエネルギー価格や原材料価格の高騰等、依然として景気の先行きは不透明な状況となっております。

このような情勢下におきまして、ショベル類を含む生活関連用品については、引き続きお客様の視点に立った製品開発および既存商品の改良改善、また、プロ職人のための道具である「PROLINEシリーズ」の新製品の販売強化や園芸用品および土農具類を中心とした拡販セールを行う等、積極的な営業活動に取り組んでまいりましたが、物価高騰によるお客様の買い控えや節約志向に加え、前期3月は春の訪れが早く土農具類が好調でしたが、当第1四半期はその反動減等の影響を受けました。一方、物流機器類については、引き合い案件が減少傾向にある中で懸命な受注活動を行い、受注および売上高は好調に推移しました。これらの結果、売上高は2,368百万円（対前年同期比3.6%増）となりました。

利益面につきましては、物流機器類の増収に加え、生活関連用品においてもコストの低減に努めたことにより利益率が若干ながら上昇し、さらに諸経費の節減等に努めました結果、営業利益は166百万円（対前年同期比52.8%増）、経常利益は178百万円（対前年同期比47.3%増）、四半期純利益は122百万円（対前年同期比45.9%増）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

(生活関連用品)

ショベル類につきましては、「PROLINEシリーズ」ショベルをはじめ、前期発売をした2wayショベルやエヴァンゲリオンコラボショベル等、ホームセンターおよび専門店ルートに対して懸命な営業活動を展開しましたが、販売価格改定や物価高騰によるお客様の買い控え等の影響により、国内向け売上高は188百万円（対前年同期比6.8%減）となりました。輸出については、アメリカおよび中央アフリカ向けが順調に推移し、売上高は30百万円（対前年同期比100.1%増）となり、ショベル類全体の売上高は219百万円（対前年同期比0.8%増）となりました。

アウトドア用品類、工事・農業用機器類につきましては、園芸用品や散水関連商品は売上が順調に推移しましたが、土農具類は好調であった前期末の反動により減少し、売上高は1,231百万円（対前年同期比0.3%減）となり、生活関連用品全体の売上高は1,450百万円（対前年同期比0.1%減）となりました。

(物流機器)

物流機器類につきましては、引き合い案件は減少傾向にある中で懸命な受注活動を行い、小中物件の他、来期売上予定の大型物件を含め、受注については比較的順調に推移しました。また、売上高についても、前期末までに受注した大型物件の売上計上案件がいくつか重なり、売上高は917百万円（対前年同期比10.2%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期会計期間末における資産、負債、純資産の状況は、次のとおりであります。

なお、記載内容は前事業年度末と比較しております。

(資産)

流動資産は、299百万円増加し4,945百万円となりました。これは主に電子記録債権が129百万円、商品及び製品が157百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定資産は、33百万円増加し2,397百万円となりました。これは主に投資有価証券が41百万円増加したことによるものであります。この結果、総資産は、332百万円増加し7,343百万円となりました。

(負債)

流動負債は、252百万円増加し2,133百万円となりました。これは主に未払法人税等が119百万円減少したものの、買掛金が197百万円、電子記録債務が118百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定負債は、20百万円増加し552百万円となりました。これは長期借入金が16百万円減少したものの、固定負債のその他に含まれている繰延税金負債が37百万円増加したことによるものであります。この結果、負債合計は、273百万円増加し2,685百万円となりました。

(純資産)

純資産は、59百万円増加し4,658百万円となりました。これは主に利益剰余金が35百万円、その他有価証券評価差額金が25百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の業績予想につきましては、2026年5月13日の決算短信で発表いたしました通期の業績予想の数値から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2026年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,247,367	1,365,848
受取手形及び売掛金	1,100,066	1,001,806
電子記録債権	461,521	591,162
商品及び製品	1,448,431	1,606,188
仕掛品	106,729	93,082
原材料及び貯蔵品	138,194	134,819
未収入金	64,223	80,299
その他	80,299	72,943
貸倒引当金	△200	△200
流動資産合計	4,646,633	4,945,950
固定資産		
有形固定資産	627,124	621,395
無形固定資産	9,341	8,223
投資その他の資産		
投資有価証券	1,506,395	1,548,102
その他	222,493	220,669
貸倒引当金	△394	△394
投資その他の資産合計	1,728,494	1,768,377
固定資産合計	2,364,960	2,397,996
資産合計	7,011,593	7,343,946
負債の部		
流動負債		
買掛金	540,701	738,668
電子記録債務	105,812	223,996
短期借入金	714,744	797,804
未払法人税等	154,128	34,273
賞与引当金	68,100	23,300
その他	297,555	315,615
流動負債合計	1,881,042	2,133,657
固定負債		
社債	200,000	200,000
長期借入金	36,185	19,494
その他	295,438	332,676
固定負債合計	531,623	552,170
負債合計	2,412,665	2,685,827

(単位：千円)

	前事業年度 (2026年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2026年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	829,600	829,600
資本剰余金	509,408	509,408
利益剰余金	2,588,964	2,624,569
自己株式	△87,194	△87,300
株主資本合計	3,840,777	3,876,277
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	724,882	750,813
繰延ヘッジ損益	33,268	31,028
評価・換算差額等合計	758,150	781,841
純資産合計	4,598,928	4,658,118
負債純資産合計	7,011,593	7,343,946

（2）四半期損益計算書

（単位：千円）

	前第1四半期累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）	当第1四半期累計期間 （自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）
売上高	2,285,811	2,368,547
売上原価	1,677,617	1,699,962
売上総利益	608,194	668,585
販売費及び一般管理費	499,309	502,253
営業利益	108,884	166,331
営業外収益		
受取配当金	16,167	14,604
受取保険金	501	—
その他	2,203	2,938
営業外収益合計	18,873	17,543
営業外費用		
支払利息	3,260	4,131
手形売却損	771	30
電子記録債権売却損	1,121	1,115
その他	1,484	246
営業外費用合計	6,637	5,524
経常利益	121,120	178,350
税引前四半期純利益	121,120	178,350
法人税、住民税及び事業税	17,000	30,000
法人税等調整額	20,450	26,292
法人税等合計	37,450	56,292
四半期純利益	83,670	122,057

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	17,448千円	16,469千円

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 （注） 1	四半期損益計 算書計上額 （注） 2
	生活関連用品	物流機器	合計		
売上高	1,452,612	833,198	2,285,811	—	2,285,811
セグメント利益	52,368	108,127	160,496	△51,611	108,884

（注） 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間（自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 （注） 1	四半期損益計 算書計上額 （注） 2
	生活関連用品	物流機器	合計		
売上高	1,450,651	917,896	2,368,547	—	2,368,547
セグメント利益	48,381	170,698	219,080	△52,748	166,331

（注） 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

3. 補足情報

（売上高内訳）

（千円未満切捨）

期 別 品 種 別			前第1四半期累計期間 （ 自 2025年 4月 1日 至 2025年 6月 30日 ）			当第1四半期累計期間 （ 自 2026年 4月 1日 至 2026年 6月 30日 ）			増 減	
			金 額	構 成 比		金 額	構 成 比		金 額	率
生 活 関 連 用 品	シ ョ ベ ル 類	国 内	千円 202,128	% 92.9	%	千円 188,442	% 85.9	%	千円 △13,686	% △6.8
		輸 出	15,443	7.1		30,899	14.1		15,455	100.1
		小 計	217,572	100.0	9.5	219,341	100.0	9.2	1,768	0.8
	農 業 用 機 器 類 ・ ア ウ ト ド ア	国 内	1,224,297	99.1		1,222,743	99.3		△1,554	△0.1
		輸 出	10,741	0.9		8,565	0.7		△2,175	△20.3
		小 計	1,235,039	100.0	54.0	1,231,309	100.0	52.0	△3,730	△0.3
	小 計	国 内	1,426,426	98.2		1,411,185	97.3		△15,240	△1.1
		輸 出	26,185	1.8		39,465	2.7		13,279	50.7
		小 計	1,452,612	100.0	63.5	1,450,651	100.0	61.2	△1,961	△0.1
物 流 機 器		国 内	833,198	100.0		917,896	100.0		84,697	10.2
		輸 出	—	—		—	—		—	—
		小 計	833,198	100.0	36.5	917,896	100.0	38.8	84,697	10.2
合 計		国 内	2,259,625	98.9		2,329,082	98.3		69,456	3.1
		輸 出	26,185	1.1		39,465	1.7		13,279	50.7
		合 計	2,285,811	100.0	100.0	2,368,547	100.0	100.0	82,736	3.6